



20250407

「笑育最幸」
笑顔の教職員が笑顔の子ども
たちを育てる

令和7年度がスタートしました。今年度も星置校舎、紅葉山校舎、ほしみ高等学園の校長を継続します『浅井謙作』です。どうぞよろしくお願い致します。

今年度のスローガン（合い言葉）を『笑育最幸（わらいくさいこう） 笑顔の教職員が笑顔の子どもたちを育てる』としました。このスローガンのもと、一校三校舎体制の日々の児童生徒の学習の様子や、ちょっとしたうれしいニュース等、様々な出来事をこの「校長室の窓から 星置ニュース」と題して保護者ならびに地域、関係機関等の皆様、また、遠く離れた全道、全国、全世界の方々へ「札幌市手稲区星置は素敵な町！」ということも含めてお届けできればいいなあ～と思っています。児童生徒たちは、個人情報の観点から素敵な笑顔を掲載することに制限がかかるため、後ろ姿が多くなるかもしれませんが、その分児童生徒と共に日々奮闘する元気な先生たちも紹介していきます！まずは今年度どうぞよろしくお願い致します。



今年度の新採用者

三校舎合同職員会議！



4月1日（火）13：30 ほしみ高等学園第一体育館において、三校舎合同の職員会議がおこなわれました。三校舎合わせて約200名の教職員の職員会議は、昨年度に引き続きの開催でした。この二年間で約100名の職員が入れ替わりました。この体制も3年目に入り、この令和7年度が学校づくりの集大成になっていくので、私たち管理職はサーバントリーダーシップで教職員をサポートしていきます。

初めからうまくいくことはなかなかない。しかし、「まずはやってみよう！」と前向きな気持ちが大切と考えています。何かアクション（挑戦や実践）を起こすとき、そこにあるのは「成功か失敗」ではなく、さらなる『改善と学び』である。と私は確信している！

この200名の教職員と共に「笑育最幸」をやり遂げる一年にしていきたいと思います！

これからもよろしくお願い致します